

黒澤紺

## 滝のほとり

そのちいさな滝に 陽のひかりは届かない  
山の奥深いところ  
おおきな岩に囲まれているから

そのちいさな滝に 陽のひかりは届かない  
太陽を背にして  
水は流れているから

その滝を照らすのはいつも  
空からわずかに反射する  
青碧の淡いひかりだけ

でも  
滝をかたちづくる大きな岩たち  
水しぶきで美しく生える苔たち  
ちいさな草花や山の精霊たちは知っている

巡る季節のなかで  
ほんのわずかなとき  
まばゆい光が  
天空からやさしく 滝にふりそそぐ瞬間がある

そのとき彼らは  
その美しい光に映える滝とともに  
おだやかな祈りを奉げる